

我ら 50 期 ここにあり



成長する集団が持っている3つのこと

まずは「目的・目標を持つ」ことです。それぞれの考えや経験をもとに行動すると正解はいく通りもあるとは思いますが、「何のために」「誰のために」「なぜ？」それをするのかという目的・目標に沿って全員が行動することで全員が束ねられてまとまっていきます。次に「ルールや約束を守る」ことです。どんな方法や手段を使ってもよいのなら、傷つけたり、嫌な気持ちにさせたり、自分勝手やわがままに振舞ったりして、やりたい放題になってしまいます。ルールや約束を守ることで、自分や他者や集団を大切にしながらそのまとまりごと向上できるのです。最後に「リーダーに協力する」ことです。クラス 40 人、学年 200 人、学校 700 人が思い思いに自分の考えやタイミングで行動すればバラバラになってしまいます。リーダーが前で引っ張り後ろから押すことで、集団は動き出します。それに合わせて協力したり支え合ったりして集団は1つにまとまります。①目的・目標を持つ②ルールや約束を守る③リーダーに協力することを頭に置いて行動してください。

侵害受容④ ～何で良心が痛み、何で心が苦しくなるのか～

嘘をつくとき心にどす黒いものがたまってきてジクジクと痛みます。約束を破ったとき相手への気持ちにパンと弾けた感じの痛みが伴う。周りは真面目にやっているのに自分だけずるいことをしたときに後ろ髪をひかれるような(まさに後ろから髪を引っ張られるような)痛みを感じる。提出物をきちんと出していないと後ろめたい感じでヒリヒリする。学校をサボったり遅刻したりするとお尻がムズムズ痛みます。髪の毛の色を元ある自分から変えたり、ピアスを空けたり、化粧をしたりして、校則を守らなかったら心が“こそばかゆく” なります。そんな痛みが感じられなくなっているのは、頭で考えていない証拠です。頭をよく働かせ、心をきれいにするようにしましょう。